



イワジ産業株式会社

証券コード2924

第41期 株主通信

平成24年4月1日～平成25年3月31日

意思ある卵。



株主のみなさまへ



代表取締役社長
藤井 徳夫

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。皆様方のご支援のおかげで、平成24年5月、東京証券取引所市場第二部に上場することができました。誠にありがとうございます。

ここに、第41期の事業の概況をご報告申し上げます。

■営業の概況

食品業界におきましては、国内景気の持ち直しから消費マインドが改善してきてはいるものの、円安の進行等により今後様々な商品の値上げの懸念もあり、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、売上高は鶏卵関連事業において販売数量が東日本大震災前の状況に持ち直しましたが、鶏卵相場が低く推移したことなどにより、概ね前期並みの結果となりました。

損益面につきましては、営業利益に関しては鶏卵相場が低く推移したため鶏卵相場に連動した販売単価及び仕入単価も低下したものの、需給調整機能を発揮したこと等により前期並みの営業利益を確保しました。当期純利益に関しては土地の一部売却等により前期の業績を上回る結果となりました。

このほか、当期末に当社グループの3工場に太陽光発電パネルを設置し、電力会社への全量売電を開始しました。来期以降、微力ながら再生可能エネルギーの活用を通じて環境への配慮に取り組んでまいります。

■次期の見通し

今後のわが国の経済は、引続き新政権の経済政策への期待を受けて、円安や株高を背景に、国内景気は緩やかに回復していくと思われませんが、海外経済の減速懸念や近隣国との外交問題等もあり、楽観はできない状況が続くものと考えられます。

このような状況を踏まえ、当社グループは以下の3つの施策をもってシェアの拡大と安定した利益計上を目指してまいります。

1. 販売面においては、販売数量拡大のために、新規・既存ユーザーへの営業力強化を深く掘下げるとともに、安定的な製品供給に努めてまいります。
2. 購買面においては、営業と購買が相互に連携し、市況動向を注視することで、最良の原料調達と在庫政策を行うべく努力してまいります。
3. 製造面においては、安全・安心な製品を製造することを第一の目標とし、生産データの分析や工程管理の強化により万全な品質の維持と効率的な工場運営を行うとともに、お客様のニーズに即応できる生産体制を整えてまいります。

株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月



▶ 売上高

10,657 百万円
1.4 %減



▶ 営業利益

786 百万円
2.8 %減



▶ 経常利益

825 百万円
0.9 %増

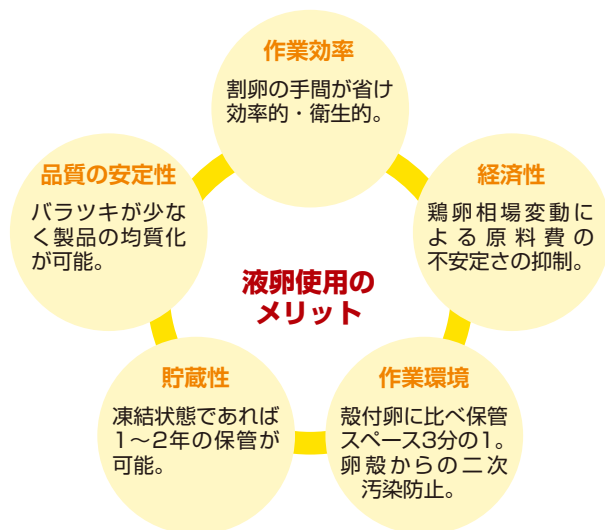


▶ 当期純利益

532 百万円
22.9 %増

(%表示は、対前期増減率)

Business Outline



当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「冷凍卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と呼ばれております。

液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、クッキー
卵黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

3

商品ラインナップ



液卵



ホール



卵黄



全卵



卵白



茶碗蒸しベース



冷凍卵



冷凍卵ミニパック・全卵



冷凍卵ミニパック・加糖卵黄



冷凍卵ミニパック・卵白
(未殺菌)



冷凍卵ミニパック・卵白(殺菌)
PCW00



冷凍卵ミニパック・卵白(殺菌)
PCW01

4

ニーズに応える安定供給

三位一体の供給体制

製造

安定品質を確保
HACCPに準拠した工程管理
最新鋭設備導入

購買

独自の購買体制を構築
需給調整機能
安定買い付け

流通

全国配送を実現
全国4工場のネットワーク
で万全の配送体制



福岡事業部



名古屋事業部



関東事業部



関西事業部

グループ会社：日本化工食品㈱
調味料関連事業の柱として、当社
と共に成長



日本化工食品㈱千葉工場

5

■独立系最大手の強みを活かして

食の基本インフラとも言うべき卵市場は、安定した成熟市場。その中において、液卵をはじめ卵加工品市場は、食の多様化とともに着実に広がっています。当社は、そんな液卵市場のシェアを分け合う大手メーカーの中で唯一の独立系メーカー。系列に縛られない自由な経営環境のもと、地域密着・顧客密着の営業体制を確立し、着実な成長を続けてまいります。

■お客様重視のネットワーク

当社は、関東、東海、関西、北部九州という大消費地に工場を立地しており、このお客様重視の工場立地政策も積極的な市場開拓を可能にする大きなアドバンテージになっております。

安全・安心のために



品質管理体制

品質管理のさらなる充実を目指して、製造工程における危害分析を行い、重要管理点を常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・冷凍卵を提供できる体制を確立しております。



温度管理体制

液卵・冷凍卵の原料となる鶏卵は入荷後8℃以下の冷蔵庫に保管され、割卵後の液卵は、自動記録による温度・時間が監視可能な殺菌機により適正に殺菌。殺菌された液卵は急速に3℃まで冷却・充填後、温度計を搭載した配送車でお客さままでお届けしております。

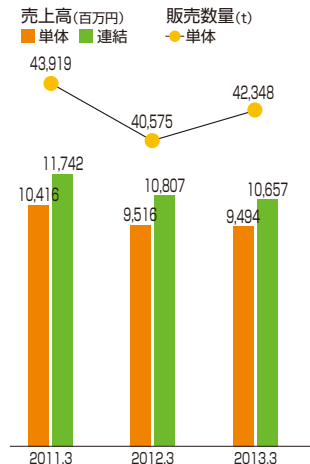
さらなる安心のために

当社では、安全で高品質の液卵・冷凍卵を製造するためHACCPに準じて、原料入荷からお客さまにお届けするまでの工程をシステム管理し、チェック体制を強化しております。このように、安全で安心な製品を提供するため、最新鋭設備を導入し、常に衛生的・効率的に生産できる工場を目指してまいります。

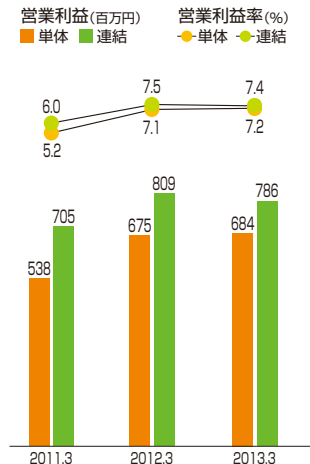
6

決算ハイライト

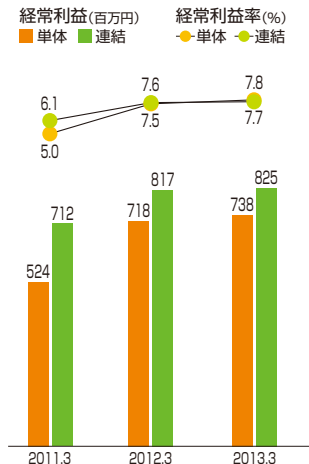
売上高／販売数量



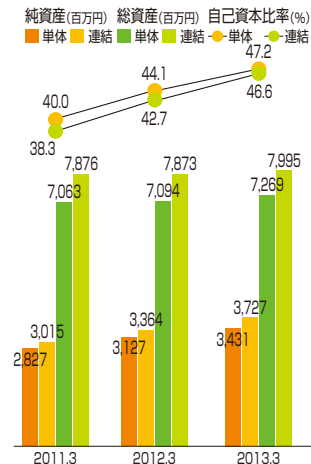
営業利益／営業利益率



経常利益／経常利益率



総資産／純資産／自己資本比率



		2011.3		2012.3		2013.3	
		単体	連結	単体	連結	単体	連結
販売数量	t	43,919	-	40,575	-	42,348	-
売上高	百万円	10,416	11,742	9,516	10,807	9,494	10,657
営業利益	百万円	538	705	675	809	684	786
経常利益	百万円	524	712	718	817	738	825
当期純利益	百万円	82	282	384	433	475	532
1株当たり当期純利益	円	14.92	50.86	69.23	78.03	85.59	95.90
1株当たり配当金	円	-	18	-	*1 22	-	*1 25
配当性向	%	-	35.4	-	28.2	-	26.1

決算書を読む3つのポイント

売上高と販売数量

当社の売上高は鶏卵相場によって変動するため、当社の業績判断としては「販売数量」と併せてご覧ください。

当期純利益

(対前期比要因)

- 鶏卵相場の低下、相場に連動した販売単価・仕入単価が共に低下しましたが、販売数量が増加したこと、需給調整機能を発揮したことにより利幅を確保。
- 生産調整に伴う荷造包装費等、経費を圧縮。
- 所有不動産の一部売却による特別利益。

利益還元

連結ベースで目標配当性向を25%～30%に設定。2013年3月期は、中間と期末合わせ1株あたり25円。(※2円は記念配当)

※1 記念配当2円を含む

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	前期末 (平成24年3月31日現在)	当期末 (平成25年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	3,849	4,093
固定資産	4,023	3,901
有形固定資産	3,794	3,631
無形固定資産	15	15
投資その他の資産	212	254
資産合計	7,873	7,995

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科目	前期末 (平成24年3月31日現在)	当期末 (平成25年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	2,498	2,439
固定負債	2,011	1,828
負債合計	4,509	4,267
【純資産の部】		
株主資本	3,367	3,722
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,549	2,904
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	△3	4
その他有価証券評価差額金	△3	4
純資産合計	3,364	3,727
負債純資産合計	7,873	7,995

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	前期 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	当期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
売上高	10,807	10,657
売上原価	8,529	8,403
売上総利益	2,278	2,253
販売費及び一般管理費	1,468	1,466
営業利益	809	786
営業外収益	48	60
営業外費用	39	21
経常利益	817	825
特別利益	17	152
特別損失	59	79
税金等調整前当期純利益	775	898
法人税、住民税及び事業税	300	316
法人税等調整額	40	49
当期純利益	433	532

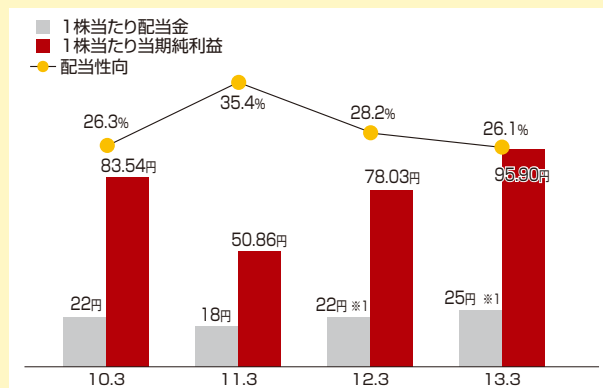
（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

配当金について

当社グループは、株主の皆様方に対する適切な利益還元は重要な経営目標と位置付けております。また、当社の属する液卵業界において市場競争力を確保し、シェア及び収益の向上を図るためには、製造設備、研究開発等の積極的な投資が必要であると考えております。

株主の皆様方に対する利益還元の基本方針としましては、経営体質の強化や今後の事業展開を勘案し、連結ベースで目標配当性向25%～30%、中間配当及び期末配当の年2回としております。

2013年3月期につきましては、中間配当10円を実施いたしました。また期末配当につきましては、普通配当13円に創立40周年を記念した記念配当2円を加えた15円の年間配当25円とさせていただきます。



※1 記念配当2円を含む

▶▶▶ 東京証券取引市場第二部に上場

平成24年5月30日、株主の皆様方のご指導、ご鞭撻のおかげで、東京証券取引所市場第二部に上場することができました。ありがとうございました。今後は市場第一部を目指して努力いたします。



▶▶▶ 中間配当の実施と株主ご優待贈呈回数の変更

株主の皆様方への利益還元のための機会を充実させる目的で、平成24年9月30日より中間配当を実施することにいたしました。

また、中間配当の実施に併せて、ご優待制度につきましても贈呈基準と贈呈回数を次の表のとおり変更いたしました。

	前期まで (年1回贈呈)	当期より (年2回贈呈)		
基準日	3月末日	9月末日(新設)	3月末日	
贈呈時期	6月	12月	6月	
所有株式数	100株以上 1,000株未満	500円	300円	300円
	1,000株以上	2,000円	1,200円	1,200円

株主ご優待制度の詳細につきましては、最終ページの「株主ご優待について」をご参照ください。

▶▶▶ 創立40周年と東証二部上場記念祝賀会

平成24年10月5日、福岡のホテルにて、お取引先様を中心に約400名のご来賓をお迎えし、祝賀会を開催いたしました。



▶▶▶ 太陽光発電事業を始めました

平成25年2月より、当社 関西・関東事業部、当社グループの日本化工食品(株)千葉工場で売電を開始いたしました。



会社概要 (平成25年3月31日現在)

商号 イフジ産業株式会社
(英訳名：Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
 設立年月日 昭和47年10月3日
 資本金 4億5,585万円
 本社所在地 〒811-2312
 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1
 TEL 092-938-4561 (代)

従業員数 90名 (臨時従業員は除く。)
 事業部 福岡事業部 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1
 TEL 092-938-4561
 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合敷3-1
 TEL 0774-99-4801
 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7
 TEL 0566-72-1611
 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17
 TEL 029-248-2311

グループ会社 日本化工食品株式会社
 株式会社春日ビル

役員 代表取締役社長 藤井 徳夫
 専務取締役 藤井 徳宗
 常務取締役 井田 賢次
 取締役 坂本 勇
 取締役 池田 敬
 取締役 原田 文
 取締役 見島 正
 監査役(常勤) 高宮 哲
 監査役 近藤 隆
 監査役 酒井 善
 佐藤 浩
(平成25年6月26日現在)

◆ホームページのご案内



決算の詳しい情報は当社ホームページでご覧いただけます。また当社をよりご理解頂ける様に動画も準備しております。ぜひご覧ください。

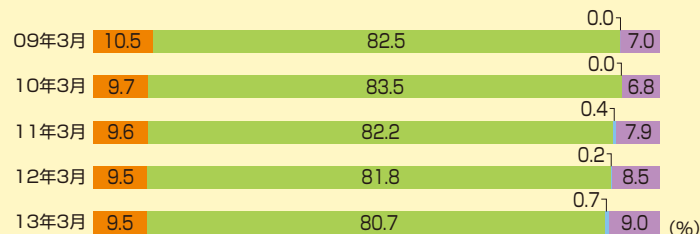
<http://www.ifuji.co.jp> ▲動画TOP画面

13

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,792,000株
 発行済株式の総数 5,563,580株
 株主数 3,742名
 所有者別分布状況

	09年3月	10年3月	11年3月	12年3月	13年3月
	千株	千株	千株	千株	千株
■ 金融機関	585	540	533	528	528
■ 個人	4,590	4,644	4,571	4,549	4,492
■ 外国法人・外国人	0	1	20	13	42
■ その他法人	388	379	439	474	502



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 2924

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

14

株主ご優待について

- 贈呈基準** 毎年9月30日、3月31日現在の株主様に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年2回、以下の基準により贈呈いたします。
- 株式数100株以上1,000株未満
一律300円(100円券×3枚)
- 株式数1,000株以上
一律1,200円(100円券×12枚)
- 利用方法** 全国の主な百貨店およびスーパー等で卵の購入の際に利用できます。
- 有効期限** 発行日から5年
- 取扱店舗** 全国の主な百貨店およびスーパー等(詳しくは同封する書類に記載)



●株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月下旬
- 基準日** 毎年3月31日
- 定時株主総会** 毎年3月31日
- 期末配当** 毎年9月30日
- 中間配当** 毎年9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。
- 公告掲載方法** 電子公告により当社ホームページ (<http://www.ifuji.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。

●お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。